



一般質問

市民の声を市政に

※ 各議員のQRコードをスマートフォンなどで読み取ることで、一般質問の録画映像をご覧ください。

※ 荒木洋美議長は職責上（議事整理権）、監査委員の水沼日出夫議員は申し合わせにより一般質問は行っていません。

（文責は、各質問者）

一般質問に27人が登壇

ゼロカーボンシティ
実現に向かって
宅配ボックス設置補助を



鈴木 一利
議員



春日部市ではゼロカーボンシティ推進本部を立ち上げ、脱炭素社会を目指し、組織横断的な取り組みを開始しています。そこで、ゼロカーボンシティかすかべモデルの取り組み内容について伺います。

また、宅配便の取扱個数が増加している一方、宅配便の再配達増加も懸念されています。この問題は、CO2排出量の増加のみならず、運転手不足を深刻化させるなど、重大な社会問題の一つとなっています。このような状態を解消すべく「置き配バック」や「宅配ボックス」の支援についての見解を伺います。さらに、市民との協働でのゼロカーボンシティ実現について考えを伺います。

○環境経済部長

市の地域課題解決の糸口となる新たな事業を積み上げながら、持続可能な田園都市型のゼロカーボンシティ実現に

向け、取り組んでいるところ
です。

補助については、現時点で独自の新たな補助事業を行う予定はありませんが、再配達防止の重要性について、市民への周知や啓発をしっかりと行っていく予定です。

○市長

市民の皆さまへの周知が大変重要であり、その上で、「ゼロカーボンシティ かすかべモデル」を積極的に推進していきます。

このほか

○学用品や給食費の支援で子育て世代に選ばれるまちに

令和6年能登半島地震への対応について



小久保博史
議員



大規模災害となると、被災地への支援は、まずは自衛隊や警察による人命救助が最優先、並行して自治体による避難所運営や物資の支援などが各避難所や避難場所において行われると思います。

いずれにしても、被災地の受入体制が整わなければ、人

的・物的支援は受入れが難しいのではないかと思います。今回の能登半島地震への対応・支援については、どのような体制で行われ、どのように各自自治体が支援に行っているのか伺います。

○市長公室長

大規模災害が発生した場合、応急対策職員派遣制度があり、総務省が所管し、関係省庁、関係団体および関係都道府県からの情報収集、情報共有を行い、対応しているものです。

支援は、被災地域のブロック内を中心とした応援職員の派遣で、被害の状況が甚大で、他のブロックの応援も必要な場合には、優先順位も決められています。今回は、埼玉県へも関東ブロックから依頼があり、本市へも県からメールをいただき、速やかに人的応援の準備を行いました。

今回の地震では、人命救助を最優先とした活動を行うため、自衛隊、警察などの救助部隊の活動を妨げないよう職員の派遣が行われています。物資の支援では、プッシュ型支援とプル型支援を行っています。

このほか

○市営住宅の管理について

災害に強い 春日部



今尾 安徳
議員

本市には、水害時の指定緊急避難場所、広域避難場所がありません。利根川と江戸川の同時決壊が起きたときに、水没しない広い面積があるのは内牧地域だけです。要援護者や施設入所者など、車でしか避難できない人が一時的に高台に逃れる避難場所の整備を内牧にできないか伺います。

また、1月1日の能登半島地震は、当初想定を超える最大震度を計測しました。能登半島地震の一番の教訓は、想定を超える災害があったときの対応が必要ということだと思います。そうといった意味で、さらなる災害対策の推進についての考えを、また、国に対して、市民を守る保護庁をつくって、避難所生活が、人間らしく送れるよう求めていくべきではないかと思いますが、市長の考えを伺います。

○市長公室長
日頃から避難所以以外の避難

先である自宅の2階以上への垂直避難や、友人、知人宅への避難、車中泊避難など、避難の優先順位に基づく適切な避難をお願いしています。

○市長

本市においても、想定し得る最大規模の災害に備えるため、さまざまな事業を実施しています。想定以上の災害が今後発生することも認識しており、さらなる災害対策の推進に努めます。国に災害時の主導省庁の設置を求めることについては、今後も国や県と連携を緊密にし、市の災害対策を推進していきます。

高台に避難 してください



高台に避難する人たち

新庁舎の バリアフリー強化を



古沢 耕作
議員

新庁舎が開庁しました。分散していた各部署が集約され、便利になった一方で、「人やさしい庁舎」として、うたっている施設としては、バリアフリーの観点から多々問題があり、早期の改善を求める立場から、提言、質問を行います。

①本庁舎正面、まさに新庁舎の顔となる位置にオープンしたレストラン（カフェブルーミーズ春日部）の1階にある、メインとなる人口ドアが大変重たく、女性やご年配の方、あるいは車いすを使用する方がたには、容易に開けることができない状態です。早期に改善を図る必要があると考えますが、いかがですか。
②エレベーターについて、車いす使用者の方などから、開閉ボタンがないため、「乗り降りの際に慌ててしまい、怖い思いをしている」という声が寄せられています。何

か対策を講じていますか。
○公共施設事業調整担当部長
①レストランは来庁者の皆さまが利用される場所であることから、早期に対応していきたいと考えています。
②扉が開いてから自動で閉まるまでの時間が、通常4秒程度のところを、車いす使用者に配慮し、10秒に設定しています。

また、センサーが設置されており、利用者が扉に挟まれることなく、安全に乗降できる仕様となっています。
このほか

○能登半島地震発生を受けて
災害時に要配慮者が安全に避難できる支援体制を



大野とし子
議員

災害関連死を出さない春日部市とするために、要配慮者の支援体制の確立が求められます。

市の防災計画には、「名簿あるいは要配慮者マップ等を活用し民生委員、社会福祉協議会等の協力を得ながら、要配慮者の確認をする」とあり

ます。要配慮者の支援体制について3点伺います。

第1に、配慮が必要な障がい者、寝たきりの高齢者などの把握はできていますか。

第2に、難病で自助、共助では避難が厳しい方への避難方法はできていますか。

第3に、一次避難所で集団になじめない障がい者や、体調を崩した高齢者の支援体制はどうなっていますか。

○福祉部長

災害時要援護者支援制度への登録者は92人です。より多くの方に登録していただけるよう積極的な周知を行います。

○健康保険部長

高齢者の把握については、日頃からケアマネジャーと連携をとり、把握できるように努めます。

○市長公室長

具合が悪くなった場合には、紙管間仕切りを活用した個室に段ボールベッドを配置し、横になって休めるスペースを確保することとしています。また、状況によって、学校では保健室などを活用します。

このほか

○空きスペースも生かし、庄和総合支所の利便性の向上、充実を

消防の救急 体制について



中村 貴彰
議員



消防指令センターは、緊迫の現場からの通報に心を尽くし、的確にアドバイスをしてくれる力強い市民の味方です。命の危険が迫る患者に、その場に居合わせた人が、すぐ救命処置をすることが大切だと思いますが、いざ、そのような場面に出会ったときに、誰でも適切に胸骨圧迫やAEDの使用ができるかという点、なかなか難しいと思います。そこで、その場に居合わせた人が、スマートフォンで撮影した動画を指令センターと共有し、通報者に対して、応急手当のアドバイスを行い、効果的な救命処置につなげることが可能なシステム「Live119」があります。常に患者さんの生死に直面する救命救急で、突然、消えそうになりつつある一つの命の明かりが、再びともり続けられるようなドラマが生まれるかもしれない。必ずや大きな力

になると思います。実際に命を救った映像通報システム「Live119」の導入について、考えを伺います。

○消防長

令和8年4月1日の運用開始を進めている消防指令業務の共同運用整備工事の中で、「Live119」の導入についても費用対効果や運用方法など、東埼玉消防指令業務共同運用協議会において、関係市町と調査研究して検討を進めていきます。

このほか

○パパの子育て支援について

市内のスクラップヤードについて



金子 進
議員



スクラップヤードについては、電気製品などを廃棄するときに、リサイクルするため、適正に金属類、プラスチック、ガラスなどに分別しなければなりません。

また、作業時の騒音や異臭、そして、汚水が発生して近隣住民に迷惑となる問題も発生

しています。

内牧の県営住宅先の農業用ビニールハウスの場所に、金属類などが積まれています。分別は、行われておらず、可燃物も混ざっていて、廃棄物のように見えます。

現在は、資源物や有機物を取り締まる法律がないため、各自自治体で条例を制定して規制していますが、本市の対応を伺います。

○環境経済部長
市内にあるスクラップヤードについては、13カ所あることから、引き続き、騒音、悪臭などが生じることのないよう、原因となる行為を行った者や土地の所有者に対して、調査や行政指導を、しっかりと継続していきたいと考えています。

また、埼玉県条例が制定されたら、産業廃棄物の指導経路などを有する埼玉県と市町村が連携しながら、スクラップヤードの問題に対処するとともに、埼玉県警との情報共有も、よりスムーズに行えることから、有効な規制になるものと期待しているところで

このほか
○職員の給与等について

教育現場と 働き方改革について



伊藤 一洋
議員



校務支援システムは、児童生徒の成績や出席などの情報を一元管理することで、通知表や指導要録の作成など、学期末や年度末の教職員事務作業を合理的、効率的に行うことができます。

また、グループウェア機能の活用により、情報共有が容易になり、ペーパーレス化、DX化が図られ、教員が児童生徒と向き合う時間の増加にもつながります。教職員の働き方改革に、とても有効な校務支援システムの導入に向けた、今後の予定を伺います。

○学務指導担当部長

校務支援システムの導入については、教育委員会職員と校長、教頭、主幹教諭、養護教諭、事務職員など、学校の代表で構成する校務支援システム導入検討委員会を設置し、どのような機能が必要かなどの意見聴取を行いました。また、近隣市町で導入して

いるシステムの種類や機能、予算などの情報収集を行いました。

今後は、検討委員会で引き続き協議を重ね、他市町での活用状況を踏まえ、本市の教職員にとって有効なシステムの在り方を精査していきます。また、校務支援システムの導入には、国の補助金の活用を検討するなど、関係課と連携協議を進め、できるだけ早期に導入できるよう取り組んでいきます。

このほか

○内谷地区通学路の安全対策について



働き方改革により生き生きする様子

大谷翔平選手から子どもたちに向けたプレゼントグローブについて



石川 友和
議員

市内の小学校・義務教育学校に贈られた大谷翔平選手からのグローブ。

子どもたちが使えない期間をつくってまで市役所に展示をしたのか、多くの市民の方から厳しいご意見をたくさんいただきましたので、以下伺います。

- ① この学校から借りたのか
 - ② グローブと一緒に飾られていたユニフォームとバットの詳細は。
 - ③ 卒業を控える6年生から使う機会を奪ってまで展示に踏み切った理由について。
 - ④ 1カ月近くの長期間展示をする意味はどこにあったのか
- 学務指導担当部長
- ① グローブは、豊春小学校、粕壁小学校、内牧小学校、武里小学校の4校から一週間ずつ借りました。
- ② 展示に当たり、市長への報告と関係課に相談を行い、その中で、市長から、ユニフォ

ームと一緒に飾る提案をいただきました。

また、バットは、展示を知った市民の方が、ご厚意で貸していただける話が市長を経由して入り、展示することとしたものです。

③ 展示に当たり、話題性ということも考え、あまり遅い時期ではないほうがよいと考え、このような時期、方法を取ることとしたものです。

④ 小学校に入学する前の子どもたちが、グローブを見ることのできる時間を少しでも確保したいという思いから、期間を4週間としたものです。



市役所に展示された大谷翔平選手のグローブ

災害時のトイレ対策について



木村 圭一
議員

これまでも災害時のトイレ対策を強化することは非常に重要な取り組みで、マンホールトイレの普及促進やトイレトレーラーなどの導入促進を質問してきました。特にトイレトレーラーについては、大型免許や牽引免許取得、また、保管場所などに課題があり、本市では実現できていません。

例えば、民間事業者との協力で、導入の可能性も視野に入れるべきだと思いますが、本市の見解を伺います。

また、トイレカーは、大きさも軽自動車タイプから大型トラックタイプまであり、トイレカーだけでも導入できないか伺います。

○市長公室長

トイレトレーラーの購入を検討している自治体では、導入費用と併せて、牽引に関する業務を民間事業者へ業務委託する例もあります。民間事業者との包括連携などによる

活用について、比較検討を行うっていきます。

トイレカーの導入について、大型免許や牽引免許が必要なく、市職員においても普通免許を持つていければ運転ができ、どこへでも移動できる点ではメリットが大きいと考えています。そして、何よりも避難者のニーズに合わせた対応が必要と考えていますので、さまざまな検証をしていきます。

このほか

- 広報紙の多様性対応について
- 問合せ対応のDX化について

春日部市の地域公共交通について



鬼丸 裕史
議員

2024年問題を契機に、埼玉県内では乗務員不足によるコミュニティバスの減便や廃止の影響が始まっています。この事態は対岸の火事ではありません。どのバス事業者でも、乗務員不足は深刻な問題となつていくようですので、何かしらの対策を講じなくては

はなりません。自動運転バスは地域の足を担え、現在、国土交通省でも補助しています。そこで、以下伺います。

① 路線バスやコミュニティバスの運行が難しくなった場合、他のどういった方法や対策が考えられるのか。

② 本市においても、将来的に自動運転バスを導入できないかと考えるが、その認識や可能性について。

○都市整備部長

① コミュニティバスを減便する自治体では、タクシー事業者がワゴン車を運行する形に切り替えたり、デマンド交通の運行台数を増やすなどの対応をしています。なお、国では、乗務員不足に対応するため、二種免許を持たない一般のドライバーが家用車を使用して運行できる、ライドシェアの議論が進んでいます。

② 自動運転車両は、運行経費が高額であり、実証実験中の事故が相次いでいるなど、実用化までの課題が多い状況です。現時点では、国や実証実験の動向を注視していく必要があると考えています。

このほか

○シルバー人材の活用について

行政のDX化の 推進について



栗原 信司
議員



キャッシュレス決済の進展などにより、来庁しなくてもいい行政手続きのDX化を推進と施政方針にあります。これに関連して伺います。

1点目は、高齢者などのデジタルデバイス対策はどうなっているのでしょうか。特に体験からの確なアドバイスができる高齢者による高齢者のスマホ教室は有効なものと思われませんが、市の見解を伺います。2点目は、市の情報発信、市民の交流の場にもなるスマートバス停の利活用が広がっていますが、市の見解を伺います。3点目は、メタバースの利用について伺います。4点目は、コンビニでの諸証明書の発行の際の交付手数料10円事業の延長について伺います。

○総合政策部長

高齢者向けスマホ講座と県立大学生と一緒に学ぶスマホ相談カフェを実施しています。

メタバースについては、利活用の可能性を検討していきます。コンビニ交付手数料については、新年度から地区センターの行政キオスク端末でも取得できる予定のため、今後の利用状況を見極めた上で適切な時期に判断していきます。

○都市整備部長

スマートバス停は、市政情報も掲示できるものですが、費用対効果を検証し、県内他市の動向を注視します。

このほか

○コードマモの導入について

○ボーイスカウト支援策について

NHK受信料が チューナーレステレビ



酒谷 和秀
議員



春日部市がNHK受信料を支払ってまでテレビを設置する理由と、テレビの使用方法について伺います。

NHKに受信料を支払っているテレビを処分して、チューナーレステレビに置き換えれば受信料負担を削減できると考えます。チューナーレス

テレビの導入について、本市の考えを伺います。

○財務部長

市役所では議会中継を放映するほか、災害時にニュースやデータ放送などから情報収集のために使用しています。

また、災害対策本部では、

避難指示や避難所の開設状況などの緊急情報を多くの皆さまにお知らせするアラートの確認用としても使用しています。消防本部や消防署では、情報収集のための使用のほか、

消防車両のチューナー付きカーナビゲーションは、大規模

災害の発生時に他自治体へ応援

援出動をする際に、移動しながらの情報収集のために使用

しています。公民館やコミュニ

ニティ施設では、通常時は職

員間の打ち合わせ、利用者による

会議や発表用のモニターとして使用し、避難所運営時

には情報収集のために使用し

ています。

公民館などには、すでに

チューナー付きテレビを設置

しているため、新規に導入す

る予定はありません。今後、

テレビの買い替えや新規の設

置に当たり、利用目的に応じ

て費用対効果の高い機器を選

定したいと考えています。

公民館の改善・充実と 使用料無料化を



並木 敏恵
議員



公民館は、自主的な学びを通して、地域づくりの拠点です。4月から地区センターが併設され、その役割は一層重要になります。

公民館は、いずれも老朽化

しており、建て替え、改修に

ついて計画すらありません。

「施設運営に大きな支障を来

す恐れのあるものを最優先に

修繕を行っている」というこ

とですが、計画的に建て替え

改修を行うため、「計画」を

作るべきではないでしょうか。

地区センターが併設される

ことで、自治会は「公益に資

する団体」として使用料が免

除されます。しかし、学びを

通して地域をつくる公民館活

動そのものが「公益」です。

使用料の支払いで市民を区別

するのではなく、すべての利

用者を無料にすべきですが、

市長の見解を伺います。

○社会教育部長

施設の改修に当たり、庄和

市民センター正風館リノベーション工事では、個別施設計画を策定しました。今後は、春日部市公共施設マネジメント基本計画に基づき計画的に取り組んでいきます。

○市長

公民館使用料は、すでに有料化されて16年が経過し、受益者負担の考え方には一定の理解をいただいているものと受け止めています。今後も安心してご利用いただける運営を推進します。

このほか

○児童虐待ゼロ、安心して子育てできる春日部に



中央公民館